

消防防災ヘリコプター必要操縦士数

○ 平成 27 年 4 月 1 日現在における消防防災ヘリコプター操縦士数

- 自主運航団体：117 名
- 委託運航団体：133 名

計 250 名

○ 操縦士数必要人員試算

【365 日・24 時間体制に必要な人員試算：常時 1 機運航の場合】

	機体数	操縦士	整備士	隊員	(運航管理等)
乗組等必要数	1	2	1	3	(1)
昼間運航 必要人員	1	4	2	5	(2)
365 日 24 時間 運航必要人員	1	8	4	11	(4)

※ 消防防災ヘリコプターの効果的な活用に関する検討会報告書より引用（平成 21 年 3 月）

- 週休 2 日制を確保し、操縦士は、昼間 2 又は 3 名、夜間 2 名配置
- 昼間運航 4 名及び 24 時間運航 8 名のうち 1 名は、毎日勤務員とし、操縦業務の補完、運航管理及び休暇補完要員

○ 上記試算を基にした 365 日 24 時間運航に必要な操縦士数

- 日中全機、夜間 1 機体制（8 機保有団体は 2 機体制）
上記「操縦士数人員試算」を基準に、機体数を乗じた人員

◆ 自主運航団体

区 分	団体数	1 団体の必要人員	総必要人員
8 機保有団体	1	40 名	40 名
2 機保有団体	12	12 名	144 名
1 機保有団体	8	8 名	64 名

計 248 名

◆ 委託運航団体

区 分	団体数	1 団体の必要人員	総必要人員
3 機保有団体	1	16 名	16 名
1 機保有団体	33	8 名	264 名

計 280 名

計 528 名

○ 稼働率

- 平均稼働率（平成 23 年～平成 26 年）：78.95%
- 稼働率：80%とする（調査期間が短く、対象年数が少ないため、概算値）

○ 稼働率から算定した必要操縦士数

- 自主運航団体
 $248 \text{ 名} \times 0.8 = 198.4 \approx \underline{199 \text{ 名}}$
- 委託運航団体
 $280 \text{ 名} \times 0.8 = \underline{224 \text{ 名}}$

計 423 名

○ 消防防災ヘリコプター操縦士不足数

- 自主運航団体
 $199 \text{ 名} - 117 \text{ 名} = \underline{82 \text{ 名}}$
- 委託運航団体
 $224 \text{ 名} - 133 \text{ 名} = \underline{91 \text{ 名}}$

計 173 名